

アスファルト混合物報告書

令和7年2月26日

様

製造会社

所在地 鳥取市南限835

工場名 共同アスコン

配合の設計条件				
混合物の種類別	骨材の最大寸法	基準	密度	混合温度
アスファルト安定処理	20mm	2.354	g/cm3	155℃
空隙率	飽和度	安定度	フロー値	
8.2%	52.6%	5.84kg	32	1/100cm
D	S	値		
	回/mm			
使用材料及び配合表				
使用材料名	産地名	生産会社	配合率	備考
ストレートアスファルト	ストアス 60/80	東新エナジー	4.00%	
改質アスファルトⅠ型				
改質アスファルトⅡ型				
石粉	岡山県真庭市宮地	中山石灰工業(株)	3.80%	
5号砕石	岡山県美作氏巨勢	(株)北部砕石	19.20%	
6号砕石	岡山県美作氏巨勢	(株)北部砕石	25.90%	
7号砕石	岡山県美作氏巨勢	(株)北部砕石	10.60%	
砕砂	岡山県美作氏巨勢	(株)北部砕石	24.00%	
海砂	佐賀県唐津市	(株)住若	12.50%	
再生骨材	鳥取県鳥取市南限	共同アスコン	%	
添加剤()	山口県周南市	出光興産(株)	%	

アスファルト混合物配合設計書

混 合 物 : アスファルト安定処理

共同企業体 共同アスコン

室内配合試験目次

1. 室内配合試験

1-1. 使用材料の産地及び納入業者	1
1-2. 使用アスファルトの性状	2
1-3. 室内配合試験結果	
1-3-1. 混合物配合率及び合成粒度	3
1-3-2. 最適アスファルト量によるマーシャル性状値	3

以下バックデータ

- 常温骨材配合率計算表
- 理論最大密度計算表
- マーシャル安定度試験成績表
- マーシャル安定度試験相關図

1. 室内配合試験

1-1. 使用材料の産地及び納入業者

材料種類	材 質	産地又は品名	納入業者
5 号 砕 石	硬 質 粘 板 岩	岡 山 県 美 作 市 巨 勢	(株)北部砕石
6 号 砕 石	硬 質 粘 板 岩	岡 山 県 美 作 市 巨 勢	(株)北部砕石
7 号 砕 石	硬 質 粘 板 岩	岡 山 県 美 作 市 巨 勢	(株)北部砕石
砕 砂	硬 質 粘 板 岩	岡 山 県 美 作 市 巨 勢	(株)北部砕石
砂	海 砂	佐 賀 県 唐 津 市	(株)住若
石 粉	石 灰 岩 粉 末	岡 山 県 真 庭 市 宮 地	中山石灰工業(株)
再 生 骨 材	0 ～ 13mm		
ア ス フ ァ ル ト	ストレート60/80	ストレートアスファルト60/80	東新エナジー(株)

材料種類	5号砕石	6号砕石	7号砕石	砕砂	砂	再生骨材	石粉
通過質量百分率 (%)	ふるい目						
	37.5 mm						
	31.5 mm						
	26.5 mm	100.0					
	19.0 mm	98.4	100.0				
	13.2 mm	4.7	99.2	100.0	100.0	100.0	
	9.5 mm						
	4.75 mm		0.5	98.3	99.9	99.7	
	2.36 mm			0.4	84.5	96.4	
	0.600 mm				29.2	47.8	100.0
	0.300 mm				15.1	12.2	100.0
	0.150 mm				6.8	1.1	97.2
	0.075 mm				3.0	0.3	84.2
比重 (g/cm ³)	表 乾	2.680	2.686	2.667	2.656	2.594	-
	か さ	2.653	2.657	2.637	2.605	2.557	-
	見 掛	2.727	2.736	2.719	2.746	2.654	2.720
吸 水 率 (%)		1.01	1.09	1.14	1.97	1.42	0.13
すりへり減量 (%)		10.4	11.9	-	-	-	-
安 定 性 (%)			4.2	0.5	1.0	2.7	-
軟 石 量 (%)				-	-	-	-
細長・扁平量 (%)		-	-	-	-	-	-
単 位 容 積 質 量		1.6	1.6	1.5	1.7	1.6	-
粘 土 塊 (%)		0.05	0.04	0.05	0.00	0.15	-
旧 AS 含 有 量							-
旧 AS 針 入 度 (1/10mm)							-
最 大 比 重 (g/cm ³)							-
微粒分量試験 (%)							-

1-2. 使用アスファルトの性状

アスファルトの種類	ストレートアスファルト60/80		
アスファルトの名称	ストレートアスファルト60/80		
項 目	試験値	規 格	
針 入 度 (25℃) 1/10mm	64	60～80	
軟 化 点 ℃	48.5	44～52	
伸 度 (15℃) cm	140+	100 以上	
トルエン化溶分 %	99.92	99 以上	
引 火 点 ℃	362	260 以上	
薄膜加熱質量残留率 %	0.09	0.6以下	
薄膜加熱針入度残留率 %	71.7	55以上	
蒸発後の針入度比 %	98	110以下	
密 度 (15℃) g/cm ³	1.040	1.000 以上	
タフネス (25℃) N・m	－	－	
テナシティ (25℃) N・m	－	－	
(120℃)	－	－	
動 粘 度 (150℃) mm ² /s	－	－	
(180℃)	－	－	
最 適 混 合 温 度 ℃	150 - 156	153	
最 適 締 固 温 度 ℃	139 - 143	141	

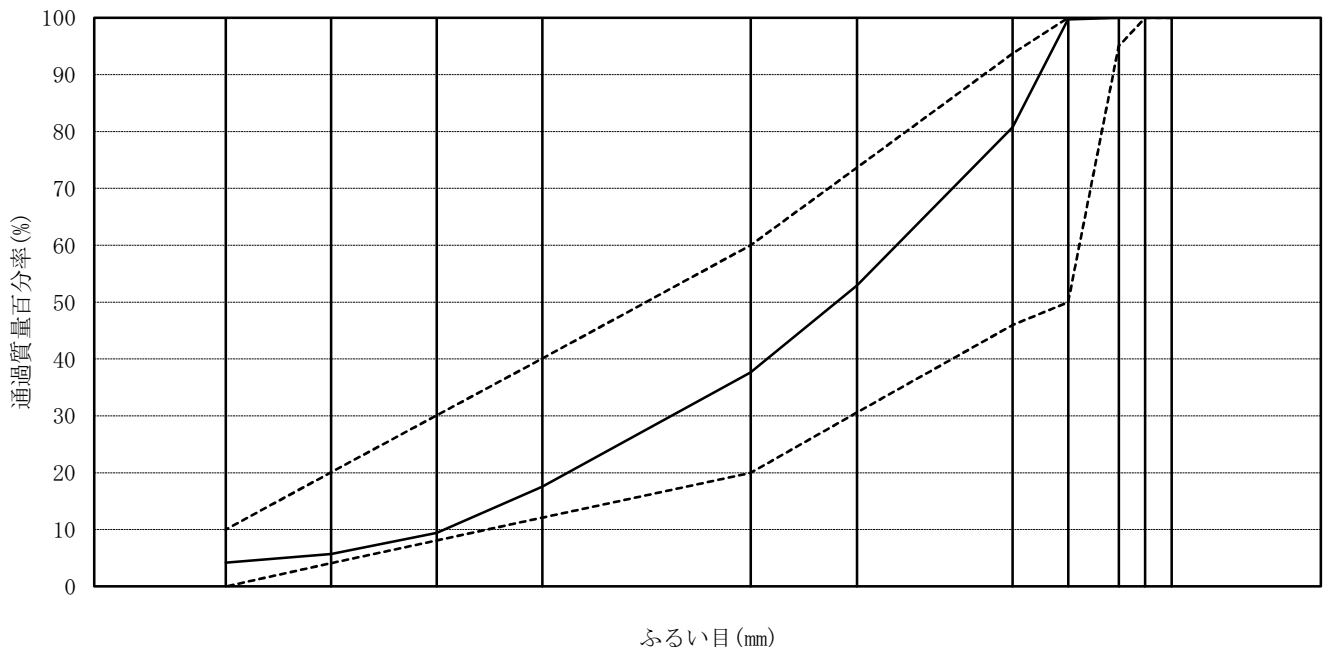
1-3. 室内配合試験結果（アスファルト安定処理）

1-3-1. 混合物配合率及び合成粒度

材料種類	骨材配合 (%)	混合物 (%)
5 号 砕 石	20.0	19.2
6 号 砕 石	27.0	25.9
7 号 砕 石	11.0	10.6
砕 砂	25.0	24.0
砂	13.0	12.5
石 粉	4.0	3.8
添 加 剤		
アスファルト	設計 (4.0)	4.0
合 計	100.0	100.0

ふるい目 (mm)	53.0	37.5	31.5	26.5	19.0	13.2	4.75	2.36	0.600	0.300	0.150	0.075
通過質量百分率 (%)												
合成粒度				100.0	99.7	80.7	52.9	37.6	17.5	9.4	5.7	4.2
中央粒度				97.5	75.0	69.9	52.2	40.0	26.1	19.1	12.1	5.0
粒度範囲	-	-	100	95 ~ 100	50 ~ 100	-	-	20 ~ 60	-	-	-	0 ~ 10

加積粒度曲線図



1-3-2. 最適AS量におけるマーシャル性状値

項 目	AS 量 %	密 度 g/cm ³	空隙率 %	飽和度 %	安定度 k N	フロー値 1/100cm		
試験値	4	2.354	8.3	52.3	5.92	32		
規格値	-	-	3~12	-	3.43以上	10~40		

室内配合設計バックデータ

合 材 種 類 : アスファルト安定処理

常 温 骨 材 配 合 率 計 算

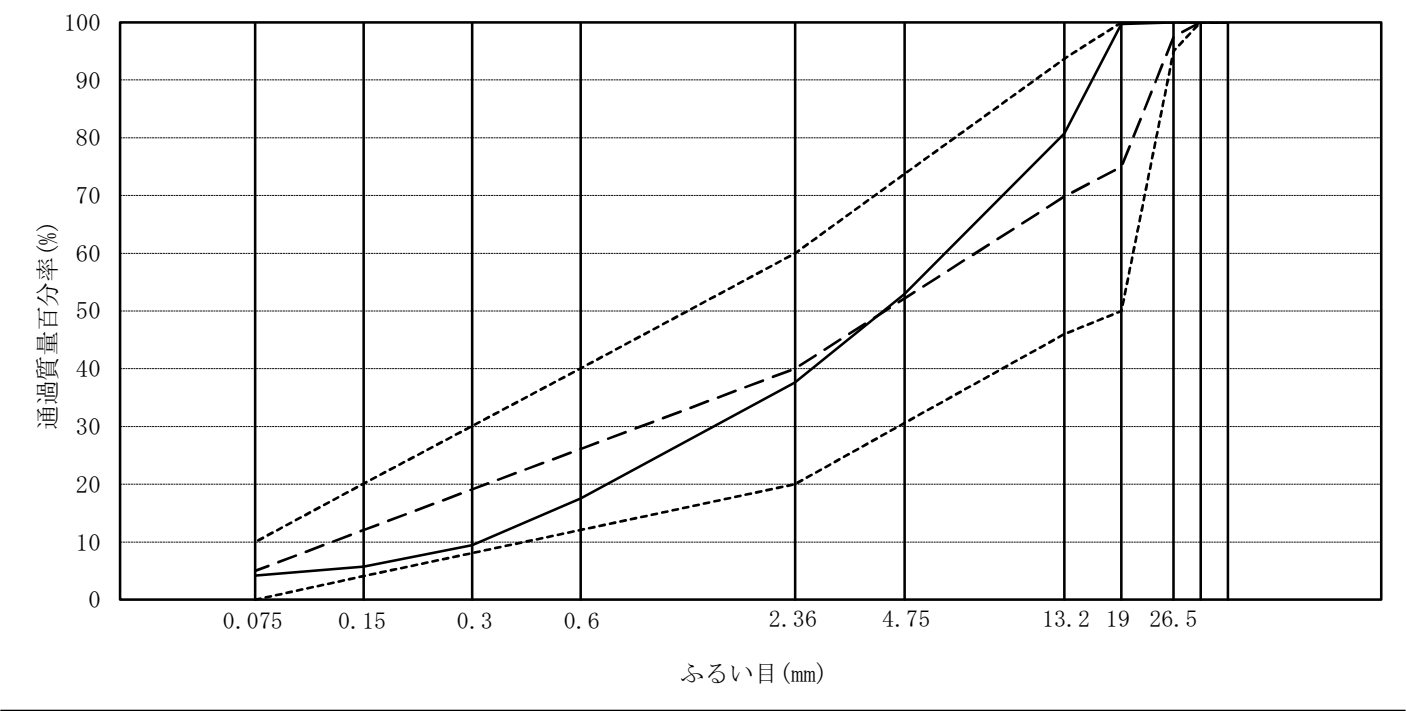
工 事 名 :

混合物種類 : アスファルト安定処理試 験 日 : 令和7年1月

記 事 : 令和7年度 配合設計試 験 者 : 繁 友 芳 明

ふるい目		37.5	31.5	26.5	19.0	13.2	9.5	4.75	2.36	600	300	150	75
材 料		mm	mm	mm	mm	mm	mm	mm	mm	μ m	μ m	μ m	μ m
通過 質量 百分率 (%)	① 5号 砕 石			100.0	98.4	4.7							
	② 6号 砕 石				100.0	99.2		0.5					
	③ 7号 砕 石					100.0		98.3	0.4				
	④ 砕 砂					100.0		99.9	84.5	29.2	15.1	6.8	3.0
	⑤ 砂					100.0		99.7	96.4	47.8	12.2	1.1	0.3
	⑥ 再生骨材												
	⑦ 石 粉									100.0	100.0	97.2	84.2
配 合 率 B		各骨材のふるい目の大きさ別配合率 (A)×(B)/100											
①	20.0 %		20.0	20.0	19.7	0.9							
②	27.0 %				27.0	26.8		0.1	0.0				
③	11.0 %					11.0		10.8	0.0	0.0			
④	25.0 %					25.0		25.0	21.1	7.3	3.8	1.7	0.8
⑤	13.0 %					13.0		13.0	12.5	6.2	1.6	0.1	0.0
⑥	%					0.0		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
⑦	4.0 %					4.0		4.0	4.0	4.0	4.0	3.9	3.4
合 成 粒 度		100.0	100.0	100.0	99.7	80.7		52.9	37.6	17.5	9.4	5.7	4.2
中 央 粒 度		100.0	100.0	97.5	75.0	69.9	-	52.2	40.0	26.1	19.1	12.1	5.0

加積粒度曲線図



	理 論 最 大 密 度 計 算	
--	-----------------	--

工 事 名 ：

混 合 物 種 類 ： アスファルト安定処理

試 験 日 ： 令和7年1月

記 事 ： 令和7年度 配合設計

試 験 者 ： 繁 友 芳 明

①	②	③			④	⑤
骨材の種類	骨材配合率 (%)	密 度 (g/cm ³)			計算に用 いる比重	②/④
		表 乾	か さ	見掛け		
5号碎石	20.00	2.680	2.653	2.727	2.732	7.321
6号碎石	27.00	2.686	2.657	2.736	2.736	9.868
7号碎石	11.00	2.667	2.637	2.719	2.719	4.046
砕砂	25.00	2.656	2.605	2.746	2.746	9.104
砂	13.00	2.594	2.557	2.654	2.654	4.898
石 粉	4.00			2.720	2.720	1.471
Σ②＝ 100.00					Σ⑤＝ 36.708	

⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	理論最大密度
新A S 量 (%)	新A S 配合率 (%)	新A S 密度 (g/cm ³)	⑦/⑧	Σ⑤	⑨+⑩	(Σ②+⑦)/⑪ (g/cm ³)
3.0	3.00	1.040	2.885	36.708	39.592	2.602
3.5	3.50	1.040	3.365	36.708	40.073	2.583
4.0	4.00	1.040	3.846	36.708	40.554	2.564
4.5	4.50	1.040	4.327	36.708	41.035	2.547
5.0	5.00	1.040	4.808	36.708	41.515	2.529
4.0	4.00	1.040	3.846	36.708	40.554	2.564

備 考)

--

マーシャル安定度試験成績表

工 事 件 名 :
試 験 目 的 : 令和7年度 配合設計
混 合 物 種 類 : アスファルト安定処理
配 合 区 分 : 室内配合
バインダー種類 : ストレートアスファルト60/80

試 験 日 : 令和7年1月
試 験 者 : 繁 友 芳 明

骨材加熱温度 : 175 ℃
バインダー温度 : 153 ℃
突 固 め 温 度 : 141 ℃
突 固 回 数 : 50 回

バインダー密度 : (A) 1.04 g/cm³
力 計 の 係 数 : (B) 0.146 kN

試験条件	供試体番号	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯
		アスファルト量 (%)	供試体平均厚 (cm)	空中重 量 (g)	水中重 量 (g)	表乾重 量 (g)	容積 (cm ³)	密度		容アスファルト率 (%)	空隙率 (%)	骨材間隙率 (%)	飽和度 (%)	安定度		フロ ー 値 (1/100cm)	残留安定度 (%)
								かさ	理論					力計の読み	安定度 (kN)		
標準		3.0		1177.1	672.6	1180.0	507.4	2.320						28	4.09	26	
				1177.0	673.6	1180.5	506.9	2.322						32	4.67	27	
				1178.9	670.6	1181.8	511.2	2.306						30	4.38	27	
		平均						2.316	2.602	6.7	11.0	17.7	37.9		4.38	27	
標準		3.5		1186.1	681.6	1188.5	506.9	2.340						39	5.69	32	
				1186.5	680.9	1189.7	508.8	2.332						34	4.96	28	
				1187.6	683.9	1191.0	507.1	2.342						34	4.96	30	
		平均						2.338	2.583	7.9	9.5	17.4	45.4		5.20	30	
標準		4.0		1191.8	689.9	1194.7	504.8	2.361						38	5.55	30	
				1192.9	688.5	1195.3	506.8	2.354						44	6.42	34	
				1190.7	688.0	1194.0	506.0	2.353						42	6.13	32	
		平均						2.356	2.564	9.1	8.1	17.2	52.9		6.03	32	
標準		4.5		1195.5	691.8	1197.9	506.1	2.362						40	5.84	32	
				1196.8	690.6	1199.0	508.4	2.354						44	6.42	36	
				1196.0	692.2	1198.1	505.9	2.364						44	6.42	36	
		平均						2.360	2.547	10.2	7.3	17.5	58.3		6.23	35	
標準		5.0		1201.5	694.3	1203.0	508.7	2.362						42	6.13	39	
				1201.4	695.0	1202.8	507.8	2.366						44	6.42	40	
				1200.4	694.1	1201.9	507.8	2.364						46	6.72	35	
		平均						2.364	2.529	11.4	6.5	17.9	63.7		6.42	38	

⑥=⑤-④
⑦=③/⑥
⑨=①×⑦/(A)
⑪=⑨+⑩
⑫=⑨/⑪×100
⑭=(B)×⑬

マーシャル安定度試験相関図

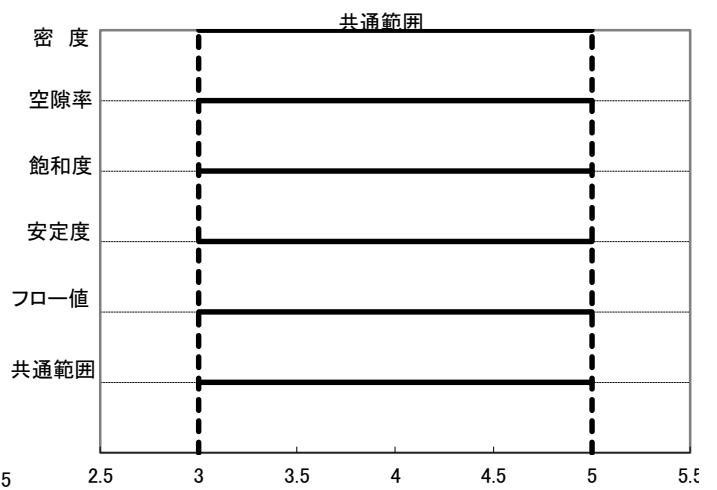
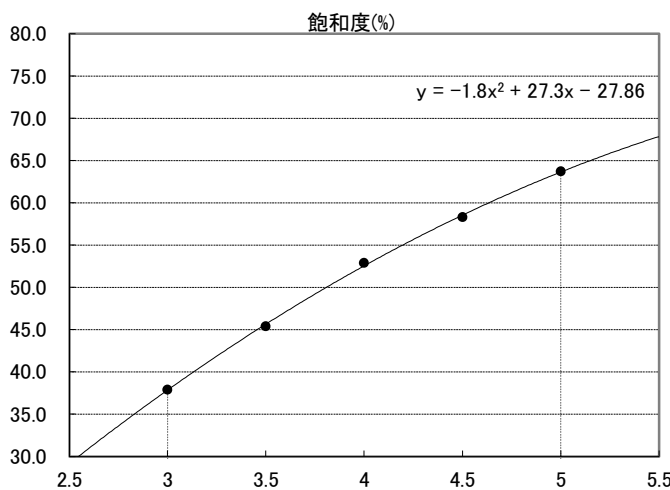
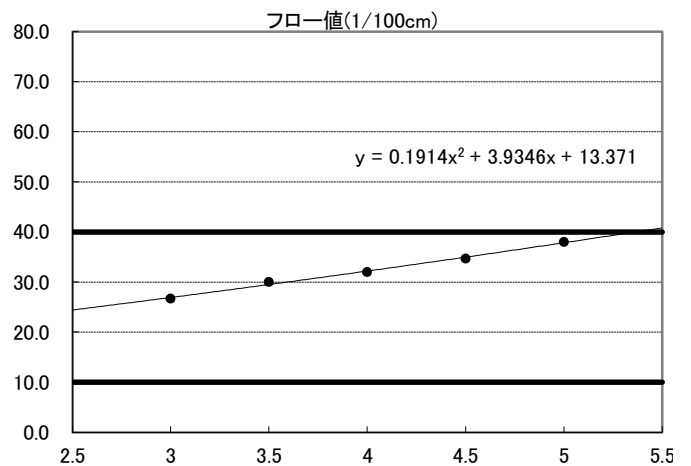
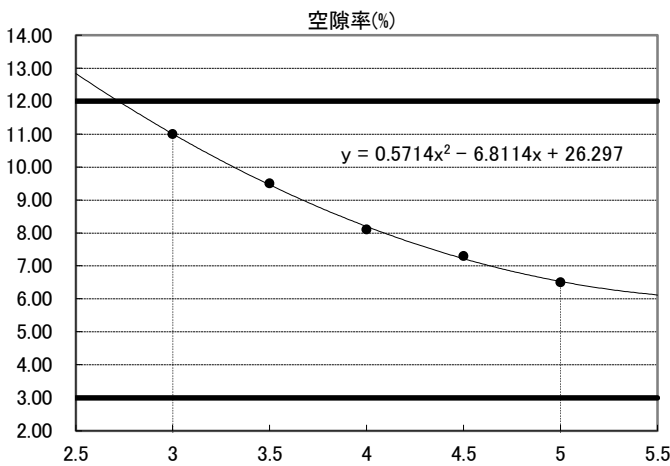
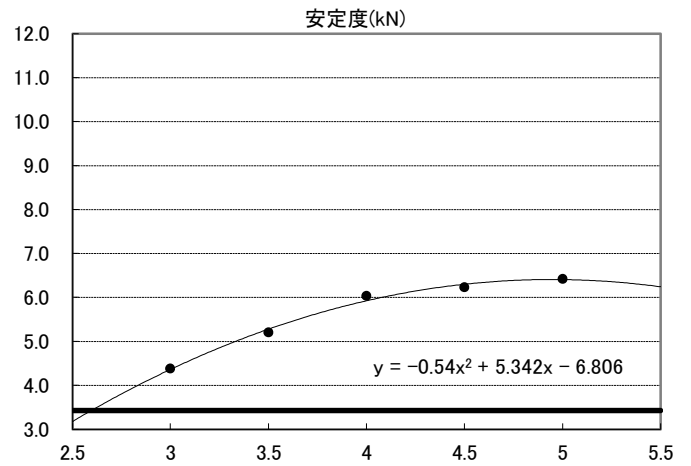
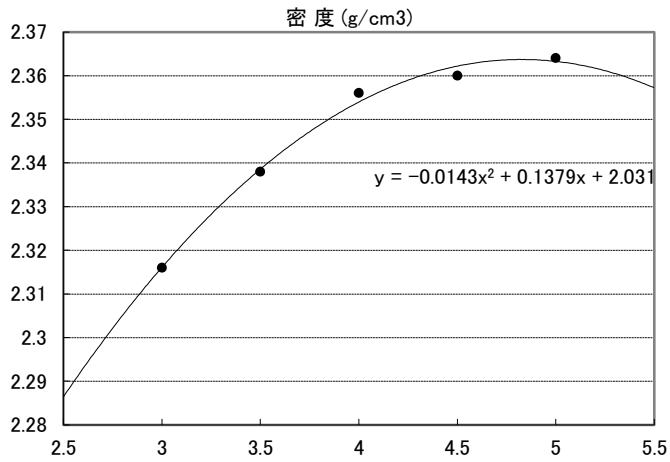
工 事 名 :

混合物種類 : アスファルト安定処理

試験日 : 令和7年1月

記 事 : 令和7年度 配合設計

試験者 : 繁 友 芳 明



規格を全て満足する範囲 : 5.00 % ~ 3.00 %
 規格を全て満足する範囲の中央値 : 4.0 %

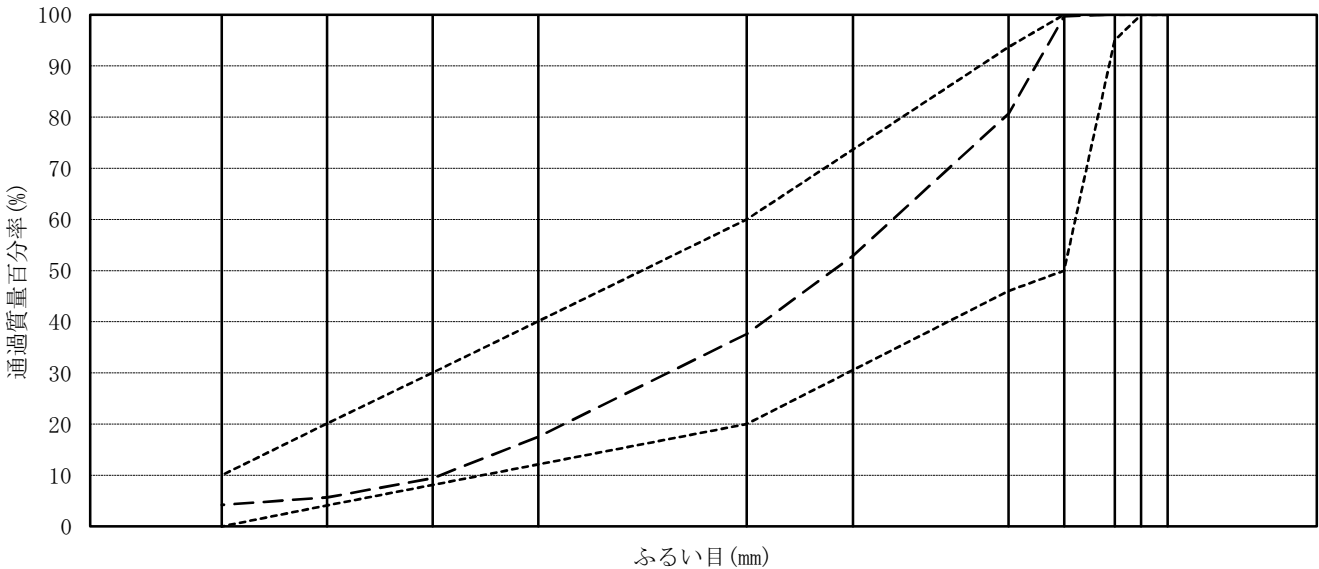
現場配合試験結果

混合物現場配合率及び合成粒度

材料種類			骨材配合 (%)	A S 混合物配合 (%)	計量値 (kg)
IV	ビ	ン	20.0	19.2	192
Ⅲ	ビ	ン	28.0	26.9	269
Ⅱ	ビ	ン	13.0	12.5	125
I	ビ	ン	35.0	33.6	336
石 粉			4.0	3.8	38
アスファルト			設 計 (4.0)	4.0	40
合 計			100.0	100.0	1000

ふるい目 (mm)	53.0	37.5	31.5	26.5	19.0	13.2	4.75	2.36	0.600	0.300	0.150	0.075
合成粒度			100.0	100.0	99.5	76.3	52.1	38.8	18.5	10.7	6.0	3.8
粒度範囲	-	-	100	95 ~ 100	50 ~ 100	-	-	20 ~ 60	-	-	-	0 ~ 10

加積粒度曲線図



試験練りにおける混合物性状及び混合条件

試 験 項 目		基 準 値	規格及び目標値	項 目		条 件
突 固 め 回 数	回	50	50	混 合 能 力	(t/H)	60
A S 量	%	4.0	-	混 合 能 力	(kg)	1,000
密 度	g/cm ³	2.354	-	混 合 時 間	ド ラ イ	8
理 論 密 度	g/cm ³	2.564	-	(S)	ウ エ ッ ト	35
空 隙 率	%	8.2	3~12	温 度	骨 材 加 熱	175 ±20
飽 和 度	%	52.6	-	(℃)	アスファルト	153 ±10
安 定 度	k N	5.84	3.43以上		混 合 物	155 ±20
フ ロ ー 値	1/100cm	32	10~40			

現場配合設計バックデータ

合 材 種 類 : アスファルト安定処理

	加熱骨材配合率計算	
--	-----------	--

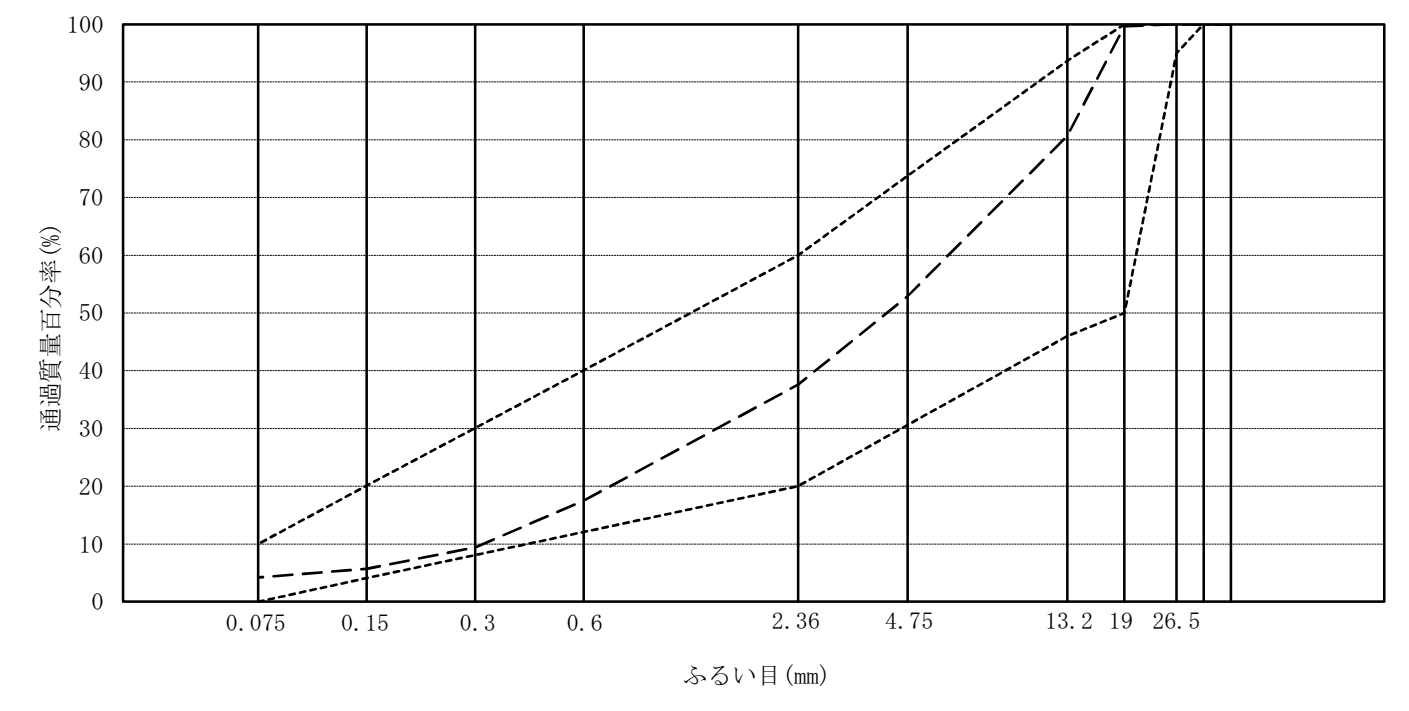
工 事 名 :

混合物種類 : アスファルト安定処理試験 日 : 令和7年1月

記 事 : 令和7年度 配合設計試験 者 : 繁 友 芳 明

ふるい目 材 料		37.5 mm	31.5 mm	26.5 mm	19.0 mm	13.2 mm	9.5 mm	4.75 mm	2.36 mm	600 μ m	300 μ m	150 μ m	75 μ m
通過 質量 百分率 (%)	① IV ビ ン			100.0	97.6	2.0							
	② III ビ ン				100.0	85.2		2.0					
	③ II ビ ン					100.0		96.4	2.5				
	④ I ビ ン							100.0	98.5	41.5	19.2	6.0	1.2
	⑤												
	⑥ 再生骨材												
	⑦ 石 粉									100.0	100.0	97.2	84.2
配 合 率 B		各骨材のふるい目の大きさ別配合率 (A)×(B)/100											
①	20.0 %			20.0	19.5	0.4							
②	28.0 %			28.0	28.0	23.9		0.6					
③	13.0 %			13.0		13.0		12.5	0.3				
④	35.0 %			35.0				35.0	34.5	14.5	6.7	2.1	0.4
⑤	%												
⑥	%												
⑦	4.0 %			4.0				4.0	4.0	4.0	4.0	3.9	3.4
合 成 粒 度				100.0	99.5	76.3		52.1	38.8	18.5	10.7	6.0	3.8
基 準 粒 度				100.0	99.7	80.7	-	52.9	37.6	17.5	9.4	5.7	4.2

加積粒度曲線図



マーシャル安定度試験成績表

工 事 件 名 :
試 験 目 的 : 令和7年度 配合設計
混 合 物 種 類 : アスファルト安定処理
配 合 区 分 : 現場配合
バインダー種類 : ストレートアスファルト60/80

試験日 : 令和 7 年 1 月
試験者 : 繁 友 芳 明

骨材加熱温度 : 175 ℃
バインダー温度 : 153 ℃
突 固 め 温 度 : 141 ℃
突 固 回 数 : 50 回

バインダー密度 : (A) 1.040 g/cm³
力 計 の 係 数 : (B) 0.146 kN

試験条件	供試体番号	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬ 安定度		⑮	⑯
		アスファルト量 (%)	供試体平均厚 (cm)	空 中 重 量 (g)	水 中 重 量 (g)	表 乾 重 量 (g)	容 積 (cm ³)	密 度 理 論 (g/cm ³)	容 積 (g/cm ³)	アスファルト率 (%)	空 隙 率 (%)	骨 材 間 隙 率 (%)	飽 和 度 (%)	力 計 の 読 み	安 定 度 (kN)	フ ロ ー 値 (1/100cm)	残 留 安 定 度 (%)
標準	4.0			1196.8	689.6	1198.9	509.3	2.350						40	5.84	32	
				1195.5	691.8	1198.4	506.6	2.360						42	6.13	35	
				1196.3	690.0	1198.6	508.6	2.352						38	5.55	30	
	平均							2.354	2.564	9.1	8.2	17.3	52.6		5.84	32	
	平均																
	平均																
	平均																
標準																	
	平均																

⑥=⑤-④
⑦=③/⑥
⑨=①×⑦/(A)
⑪=⑨+⑩
⑫=⑨/⑪×100
⑭=(B)×⑬